

大分市立神崎小学校 学力向上プラン1（8月）

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	<p>1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条件に応じてわかりやすく説明する力が、様々な教科において不足している。 ・既習漢字の定着が不十分である。語彙の獲得とともに指導が必要である。 <p>2 授業改善の検証指標に照らし合わせて評価した状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県学力定着状況調査、全国学力・学習状況調査ともに、全教科で大分県平均・全国平均・目標値を超えている。 	<p>1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて相手にわかりやすく説明する力が不足しており、問題解決学習において考えを説明し合う場面を多く取り入れたり、報告する文章をわかりやすく書く工夫を指導したりすることが必要である。 <p>2 授業改善の検証指標に照らし合わせて評価した状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童意識調査の設問「自分の考えを伝えることができているか」について肯定的回答90%以上を目指しているが、1学期末は85%であった。
指導の状況	<p>1 組織的な授業改善の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善の重点である「対話や認め合いの場の工夫を通して思考力や表現力をつける」について、教職員評価「毎日、1回以上ペア・グループ学習を取り入れた授業を行う」と答えた割合が80%にとどまっており、さらに全教員で共通理解を図って取り組んでいくことが必要である。 <p>2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員評価「基礎基本の定着のために毎日の朝学習や神崎タイムで継続した取組を行っている」と答えた割合が100%であった。毎日の宿題でも基礎学力の定着を図れるよう工夫している。 	

学力に関する達成指標	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的学習事項90%以上の定着を目指す。各種学力調査や単元テストで正答率30%未満の児童をゼロにする。 ・児童意識調査において「授業で自分の考えをもち、伝えることができる」と感じる児童の割合を90%以上にする。
-------------------	---

